

Program Notes

東条 碩夫 (音楽ジャーナリスト)



ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン *Ludwig van Beethoven*

「エグmont」序曲 op.84 "Egmont" Overture op.84

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770~1827)は少なからぬ数の劇付随音楽を作曲しており、特にこれらの序曲は単独でも親しまれている。1809~10年に書かれた「エグmont」もその一つで、序曲は比較的シンプルな構成だが、みなぎる緊迫感が見事だ。

エグmontは16世紀のオランダに実在した人物で、スペインの圧政下にあつて闘い、敗れて処刑された貴族の軍人であつた。ゲーテは史実を多少脚色して戯曲

化した。かねてからこの文豪を敬愛していたベートーヴェンは、1810年ウィーンのブルク劇場での上演に際し、この序曲を含む10曲の付随音楽を作曲したのである。劇的な終結部は、劇の最終場面でエグmontが「愛する者を守るために喜んで命を棄てよう」と処刑台に赴く際の台詞に続き奏される「勝利の交響曲」と同一の音楽。